

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2023年8月9日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	<p>【既設多核種除去設備のサンプルタンク堰内水における通常より高いトリチウム濃度の検出について】 当社運転員が、6月15日に既設多核種除去設備サンプルタンクの堰内雨水を、雨水処理設備へ移送するためにサンプリングを実施したところ、6月23日にトリチウム濃度が通常より高い33,000Bq/Lを検出したことを確認。 当該堰内雨水については、本堰内に留まっており、外部への影響はないが、念のため、堰内雨水をプロセス主建屋へ移送済。 調査の結果、6月7日～9日に、堰内にある弁の点検のため、既設多核種除去設備サンプルタンク(B)から(C)へ処理水の移送を実施しており、その際に使用していた作業用ホースに亀裂があることを確認。 作業用ホースの敷設範囲は堰内であり、堰外への漏えいはなし。 今後、再発防止対策を検討。</p>	GⅢ	8月4日
2	<p>【既設淡水化装置(RO3-2)のカートリッジフィルタ出口逆止弁本体フランジ部からの滴下について】 協力企業作業員がパトロールにて、運転中の既設淡水化装置(RO3-2)カートリッジフィルタ出口逆止弁本体フランジ部より、2秒に1滴の水の滴下を確認。 滴下した水は堰内に留まっていることを確認。 既設淡水化装置を停止し、滴下は停止。 滴下箇所を養生し、滴下した水は拭き取り済み。 建屋内淡水化装置(B)が運転可能なため、淡水の生成に影響なし。 なお、当該逆止弁は交換済み。</p>	GⅢ	8月3日
3	<p>【J5タンクエリアの堰内作業中における協力企業作業員の負傷について】 協力企業作業員が、J5タンクエリア堰内の防水塗装補修作業において、堰内移動中に仮設排水用ホースに躓き転倒し、単管足場のジョイントボルト部に右前額部が接触し負傷。 救急医療室において、右前額挫創と診断され、3針縫合の治療を受けた。 なお、不休災害となっている。 今後、原因を調査し、再発防止対策を検討。</p>	GⅢ	8月4日